

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回宍粟市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進委員会	
開 催 日 時	令和2年7月2日（木）午後3時00分～午後4時40分	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎 401 会議室	
議長（委員長・会長）氏 名	委員長：稲用 博史 副委員長：森田 圭	
委 員 氏 名	（出席者）11名 稲用 博史 森田 圭 上田 正伸 梶間 孝樹 縣 俊孝 黒田 茂 上山 安博 山下 郁司 田村 和世 岡西 清治 榎谷 さよ子 （欠席者）1名 東 由美	
ア ド バ イ ザ ー	兵庫県龍野健康福祉事務所 福本福祉室長	
事 務 局 氏 名	世良 智 三木 義彦 樽本美稚子 前田 徳之 村上 正樹 有元 靖代 栗山 早苗 松井 信弘 嵐 ゆかり 小田 洋之 ㈱ジャパンインターナショナル総合研究所 合原 収	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の区分および非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1. 計画の策定方針について 2. 年間策定スケジュールについて 3. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態把握調査の結果報告について 4. 計画および計画骨子の概要について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
会 議 録 の 確 認	（委員長等） 稲用 博史（令和2年7月20日確認）	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 健康福祉部長</p> <p>3. 委員の紹介、委員長及び副委員長の選出について 稲用委員が委員長、森田委員が副委員長に選出された。</p> <p>4. 議題 (1) 宍粟市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定方針について (2) 年間策定スケジュールについて</p> <p>保険事業の安定した運営について、見守っている要援護者の中には、介護認定を受けずに我慢している方や認定を受けているけれどもサービスを利用せずに我慢している方がおられる。「必要なサービス量を精査、適正な施策を展開」において、運営上コスト管理も大事ではあるが、この方たちの配慮もお願いしたい。また、業務委託について、7期の計画は構成等内容は非常によくできているが、近隣の市町村計画と類似している。宍粟市は面積が広く、居住が分散しているためサービスコストが多いこと、工業団地がないため企業進出が少なく働く場所がないことや、鉄道がないため人の移動に時間とコストがかかるなど、宍粟市の特異性を盛り込んだ計画となるようお願いしたい。</p>
事務局	<p>介護保険事業計画は3年間のサービスを見込んで、そのサービスに見合う保険料を設定するものであり、サービスを手厚くすれば保険料が上がり、薄くすれば保険料を上げなくてすむということになりますので、今後のサービスの提供量を勘案しながら今期委員会でご協議いただくこととなる。</p>
委員長	<p>高齢者人口のピークが2025年あたりにくるといわれているが、その点についてはどうか。</p>
事務局	<p>宍粟市のピークは8期の計画の中にくると予想している。だんだんと減少していくものの、全人口に占める高齢者の割合は増加を迎える見込みであることから、サービス量は当分減らないと予想している。</p>
事務局	<p>委託契約について、市の特性を盛り込める部分については盛りこむ</p>

	<p>ような協議をこの委員会で進めて頂くことになる。また、総合計画や地域福祉計画など市全体の計画の中で、サービスを受けない方のことについては示していくことになる。</p>
委員	<p>(3) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果報告について</p> <p>資料3 P21 の問い、現時点での施設等への入所、入居の検討状況について、この結果では、要介護度別になっていないので、軽度の人答えている割合が高く出ているのではないかと。この調査では、本当の意味での在宅介護の限界点が示されていないように感じるが、どうか。</p>
事務局	<p>この調査は国が示している項目である。在宅の限界点は、介護者の立場を重視したような調査となっている。次回の委員会で要介護度別のクロス集計したものを提示する。</p>
委員	<p>(4) 計画及び計画骨子の概要について</p> <p>なるべくたくさんの方に利用いただきサービスを提供したいが、従事するスタッフ数の確保するのが大変である。求人をかけても応募がない状態である。</p>
委員	<p>事業所数はあるけれど、従事できるスタッフの数で提供できるサービス量が変わってくる。この計画において事業所数だけでサービス量を判断できるのかどうか。実状を調査しても良いのではないかと。また、介護従事者の確保について、就職イベントなどがあっても良いのではないかと。</p>
事務局	<p>介護人材確保対策として、今年度取り組みができないか検討している。また、昨年度からケアマネ試験対策講座を実施し、ケアマネを増やしていきたいと思っている。</p>
委員	<p>なぜ介護職員が少ないかという理由を公に考えていかないといけない。仕事がきついことが一番ではないかと。待遇について施設にも限界があり、公費で補助をすることはできないかと。</p>
事務局	<p>介護保険報酬で処遇改善加算が含まれているが、その効果としては</p>

事務局	<p>今後分析していくこととする。また、処遇改善だけでよいのかという問題もあるので、今後検討していく。</p> <p>H29 年度より播磨科学公園都市圏域定住自立圏構想連携事業として福祉資格取得助成事業を行っている。令和元年度 14 件の実績がある。また、市が指定している事業所は、処遇改善加算により介護職員給与へ反映させている。</p>
委員	<p>将来的に高齢者人口比率が高くなるなかで、安定的な財源確保を考えた場合、市単独で介護保険事業をまかなうのでは苦しいのではないかと。後期高齢者医療保険のように、広域化を検討することも大事ではないかと、そういう要望も委員会から出してもよいのではないかと。思う。</p>
委員	<p>情報交換をしたほうがよいと考え、ケアマネと意見交換を行っている。</p>
委員	<p>宍粟市に若いひとが戻ってくるような魅力づくりをすることが大事ではないかと。また、この計画についても、若いひとに参画してもらうのが良いのではないかと。思う。</p>
副委員長	<p>調整交付金を充てても介護保険料が高くなっている現状から、さきほどの意見にもあったように、財政を考えたうえでも広域化は考えられる方向性であると思う。また、人材確保について、福祉職はキャリアアップしていく職種であるので、国や自治体の事業の周知を連動させていくことで、実績が生まれると思う。アンケート調査について、国の指針の下、集計をとって他市町村と比較する資料が必要だと思ふ。</p>
委員長	<p>他に質問はないか。なければ次回のお知らせについて事務局より説明してもらおう。</p>
事務局	<p>5. その他 次回の委員会は9月3日（木）午後3時からの開催</p> <p>閉会：副委員長</p> <p>終了</p>